



町民投稿

飛行雲冬青空を裂きてゆく(郁夫)

2020.1

No.146

松川町議会です

シリーズ 『えがお』

ここが聞きたい! 12月補正

2~3ページ

保護者アンケート報告(議会改革)

8~9ページ

町政を質す 一般質問

14~23ページ

表紙 早く美味しい味噌ができますように

補正予算
審議

令和元年度 松川町一般会計 補正予算（第3回）

可 決

12月定例会 議案質疑

こじが聞きたい！

主な補正内容

歳 入	歳 出
町 税 22,500千円	ふるさと応援寄附金事業 40,000千円
寄附金 40,606千円	台風19号災害義援金 1,000千円
諸収入 15,481千円	保育所施設改修 4,480千円
	水防資材倉庫等移設工事 7,100千円

質問 ふるさと納税で観光まちづくりセンターに委託をしているが、業務についてのすみ分けは。

答弁 町は受け付けなどの事務に関して行い、まちづくりセンターは返礼品の調達と発送を行っている。9%の手料を払っている。

質問 小中学校の光熱水費が小学校200万円、中学校200万円減額になっている要因は。

答弁 夏休み前までにエアコン設置の予定であったが、導入時期の遅れや天候的なもので稼働が少なかった。

質問 公用車の管理はどのようなになっているのか。

答弁 使用の際に運行日誌での管理や、車検や定期点検等は業者をお願いしている。

質問 保育料は無償化になったが給食費で387万円が計上してある。この増額に対しての原因は。

答弁 給食費の副食費が無償の対象から外れていて、3月末までの補正額となった。

質問 一般管理費のなかに弁護士委託料の55万円増の説明を。弁護士の体制を検討したらどうか。

答弁 固定資産税の訴訟案件のものであり、年度途中で発生した弁護士の委託料である。個別の案件については、町の代理になっていたので別契約となる。

質問 12月の補正予算というのは非常に大きな補正予算となる。国や県は緊急経済対策を行い景気の低下にならない施策もやっている。町がこの補正予算で元

気になるような施策を検討し配慮するべきではないか。

答弁 町でできる施策は行っているが、新しい対策も考えて行きたい。今回は財源の無いなかでの補正であった。当初予算においてはしっかりとやっていく。

質問 タブレット端末については、マイナンバーカードを発行するのに必要か。

答弁 マイナンバー

カードを、住民の皆さんに取得して頂くための施策は。

答弁 マイナンバーを普及させるための施策であると同時に、窓口で待っている住民の方にお手伝いをする。又、どの申し込みにも対応できるように検討をする。



水防資材倉庫移設



未満児保育のための増室(上片桐保育園)

質問 後期高齢者広域

連合の負担金が非常に大きく減額されている。どのような事業があつてこのような削減になつたのか。

答弁 後期高齢者の医療費が減つたことにより負担金が減つている。どの事業においてこの削減につながつたかという具体的な分析はできていない。

質問 今回の補正予算の概要を見ても新しい政策がないようにみえる。研修なども年度途中からでも参加させていくことが職員を育てることにつながるが。

答弁 指摘のとおり新しいものは今回盛り込んでいない。3月の当初予算に向けていろいろ考えているところである。人を育てるということに力を入れながらやっていく。

議案の討論

令和元年度 松川町一般会計補正予算（第3回）について

反対

プレミアム商品券は、非課税の世帯と3歳以下のお子さんがいる家庭限定であつた。

マイナンバーカード取得については、町民の皆さんに対してのメリットなどの説明が無かつた。

中央小学校のバリアフリー化だけでなく、他施設も含めた補正予算を計上するべきである。

佐藤議員

令和元年度 松川町保養宿泊施設事業特別会計補正予算（第2回）について

反対

昨年、「みなみ信州観光まちづくりセンター」を発足させ、交流人口で松川町の活性化を進めている時に、何故マイナスばかりの補正をするのか。

佐藤議員

松川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

反対

この任用制度は、条例だけではなく細かな規則などが必要である。正規職員、非正規職員、に対して職務などの説明をしつかりとすべきである。

佐藤議員

松川町農業委員会の

委員の選出について

意見

農業委員会では区長の薦枠と団体から女性委員3名の枠で構成されている組織であると理解をしている。この農業委員会選出にはもう1名公募という枠がある。

男女共同参画の中で女性の占める割合について議論されているなかで、公募において女性の委員をふやすために1名出すというような努力をすべきである。

森谷議員

会計年度任用職員とは

地方公務員法の改正により、現在の臨時・非常勤職員制度に代わる制度を条例で制定するもの。一般会計年度内で任用される一般職で、フルタイム勤務とパートタイム勤務に分けられる。年度内での任期の更新、別会計年度での再度の任用ができる。

請願書の討論

「平成27年度以降の官製談合の疑いがある入札の調査」を求める請願が町の有志の方より議会へ提出された。定例会において賛成多数で採択となり、今後は議会独自で調査をすることになった。

反対

この請願書には記書きが無く、何を求めているのかはつきりしていない。住民監査請求を町の監査委員にも提出されていることから、議会と監査委員会が平行して調査することは混乱を招く。

松井議員

賛成

町の監査委員からも入札については指摘をされている。議員として、議会としてしっかりと調査をするべきだ。

川瀬議員

だより

社会文教 常任委員会

12月11日（水）に社会文教常任委員会を行い、

分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

社会文教常任委員会とは、住民税務課・保健福祉課・こども課・教育委員会及び議会事務局の分野を担当しています。

質問・意見

答弁

①低所得者対策のプレミアム商品券の購入状況はどうか。

①12月現在の購入状況は、住民税非課税世帯の対象者2,436人に対して57.2%、子育て世帯の対象者313人に対して38%が購入した。

②名子中央保育園の防除ネット修繕300万円はどのようなものか。

②名子中央保育園の東側105㎡、11スパンのうち4スパン分であり、その他は来年度以降修繕をしていく。

③タブレット端末購入費 3万9,000円は、どのように使用するものなのか。

③マイナンバーカードの申請に使うもので、タブレット端末を窓口置き、写真を撮影するだけでなく、申請サイトに入り簡単に申請できる。扱いについては、窓口でサポートする。

④元気センター（仮称）関連の講演会講師謝礼10万円はどのように活用するか。

④ただ講演を聞いて終わりにするのではなく、交互にやり取りができるようにし、内容を深めたい。又、共生社会の理念を町民に共有してもらうため積極的に出掛けて行き、話をしたい。

⑤準保護児童生徒援助費の動向はどうか。

⑤平成30年度は全児童生徒に占める割合は12.5%であり特に増えていない。

⑥学校行事バス使用料増20万円は行事増のためか、バス代が高くなったためか。

⑥学校徴収金の負担軽減のために修学旅行のバス代を町で負担することとなった。当初予算との差は色々な条件を加えるなかで、増額となったものである。



町民体育館の外壁の剥がれ



名子中央保育園防除ネット

調査・研究

午後1時より町民体育館の増工部分、名子中央保育園の防除ネット、上片桐保育園の未満児室増室について現地調査を行いました。

総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・環境水道課・建設課・会計室の分野を担当しています。

委員会

12月9日（月）に総務産業建設常任委員会、委員会ごとに現地調査を実施しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査を

質問・意見

答弁

①ふるさと納税管理委託業務料増の説明を。

①今回寄附額の4,000万円増を見込んでおり、最終的に9,000万円ほどになる。
その結果業務委託料の増となる。

②水防資材倉庫移設の移設先と地盤の高さ
はどうか。

②1号と2号棟を解体し、3号棟を北側に移設する。
移設場所の盛り土堤防は国土交通省の管轄で、
嵩上げの計画はないので、現状の高さである。

③観光費のシードル列車は台風で中止となっ
たが、代替事業を行うのか。

③シードル列車は元気づくり支援金を活用して
きた。代替イベントは振興協議会と協議し、「え
みりあ」を会場に試飲会を行う。

④フォレストアドベンチャーの申込書が、
日本文だけで外国人向きでないが、今後
の考えはどうか。

④インバウンド受け入れの観点からセンターの
通訳と協力し、外国人向け案内を作るなど、順
次計画的に実践していく。

⑤火の見やぐら撤去工事費230万円はどこか。
その他の火の見やぐらはどうか。

⑤インター交差点南の火の見やぐらである。他
には本部車詰所横、上片桐北小グラウンド東に
あるが、OBの思いや地域の考え方で残したい
との要望もあり、検討しながら進めていく。

⑥清流苑の使用料減1,200万円の理由はなに
か。

⑥台風19号の影響によりキャンセルの発生やマ
ツタケの不作などで、主なものは3月まで見
越した賄い材料分700万円、売店の仕入れ分400
万円、合計1,200万円を減額補正とする。



長寿命化工事の完成装置



前河原道路予定地

調査・研究

午後1時より長寿命化工事完成の松川浄化センター、
リニア残土の活用場所であ
る前河原道路予定地の現地
調査を行いました。

名子地区

10/18

地元として注視 「元気センター」の方向性は

- ・名子交差点について正式回答を求む。
- ・自治会未加入者の災害時や訓練等に課題がある。
- ・台風19号で現実の避難勧告にどう対応するか今後の課題になったのでは。
- ・サポーター制度に興味あり。やってみたらどうか。
- ・議会で行ったアンケートは疑問、議会に関するに限るべき。

上大島地区

10/26

議員は信念をもってやれるか

- ・福与保育園の山保育は良い。移住PR活用を。
- ・英検補助は素晴らしい。スタッフなどサポート体制の充実を。
- ・区役員の成り手不足、区の事務方支援を町でも考えてほしい。
- ・上片桐バイパス延伸を。
- ・通学バス無料化を。
- ・議員は信念をもってやれるか。給与面も必要。

上新井地区

10/22

学校設備のメンテナンスに気配りを

- ・児童館の人数が増えている。どのくらい問題解決されているのか。
- ・支援学級のス킬アップを。
- ・高校中退者の就職支援サポートを。
- ・宮ヶ瀬橋の改修後の道路網計画は。国道153号線に抜ける道を積極的に進めてほしい。
- ・事業目的で設置される太陽光パネルはガイドラインだけでなく条例が必要である。
- ・天竜川の堤防整備を国へ要望を。

語る会

しいなか、お集まりいただきありがとうございました。今ト結果を基に意見交換を実施いたしました。貴重なご意見は政策としてまとめてまいります。尚、内容は抜粋して掲載

生田3地区

10/23

分散型公共施設を

- ・「元気センター」は町の中央に出来ても距離が遠く、気軽に利用できない。地域に密着し、活性化できる方策を。
- ・教職員間のいじめの問題は。松川町の状況は。教育委員会制度改正に伴い、松川町教育委員会を議会がサポートすべき。
- ・子どもの貧困問題は深刻である。調査し注意をはらうべき。
- ・放置農地に対する議員提案を望む。
- ・県道18号線伊那生田飯田線の歩道整備を。
- ・県道22号線の拡幅整備を。



活発な意見交換 生田3地区



名子地区よりスタート

女性団体連絡会

10/28

道の駅は何処も賑わっている

- ・審議会、委員会への女性登用を。
- ・道の駅設置に対する要望をどう捉えているのか。
- ・リニアを見据えた生田地域の活性化を議会としてどう考えているのか。
- ・生田地域のリニア残土問題状況は。
- ・「元気センター」検討委員会の構成は。
- ・大島・上片桐のデマンド運行は。
- ・出産祝い金は全額現金で。
- ・地域おこし協力隊3年後の仕事の積み上げは。

令和元年度

議会と

議会報告会は8地区7会場と1団体で実施しました。お忙回は教育についてと議員の成り手不足についてのアンケート行政へ提言、陳情してまいります。又、議会として協議させていただきますいております。

全体

11/1

議員活動は専業でしっかりと

- ・町の問題を事前に解決するのが議会である。議員活動はボランティアでなく専業でやってほしい。
- ・自治会の高齢化で役員の成り手不足が問題。
- ・国の政治の方向についても議会としてレベルの高い請願を。
- ・町の教育委員会として主導権をもって指導しないと教育は変わらない。

上片桐地区

10/24

常任委員会の放映を

- ・議員報酬は高額である。町民が納得できる報酬にすべき。
- ・休日や夜間議会の導入を。
- ・横並びの研修ではなく、足元の問題に目を向けるべき。
- ・学校のいじめについて議会として把握しておくべき。
- ・松川インター工業団地の方向性は。
- ・県道バイパスから松川大橋への取り付け道路状況は。

古町地区

10/25

リニア残土を活用した 前川原道路整備は

- ・前川原道路について具体的な地元説明が無い。一旦白紙に戻すべき。
- ・古町では地区外への買い物が多い。デマンド運行の広域拡大へ。
- ・決算特別委員会を設ける考えは。
- ・松川町の財政健全化指数は良いが、行政運営についての魅力は。

議会改革の取組

小中学校保護者の皆様の アンケート結果報告

アンケート調査は町民の皆様の思いや願いを把握し、より良い町づくりを反映するため
の取組です。今回は特

に子育て世代の皆様にご意見をお聞かせいただき
ました。

議会ではこの結果を基に、町民の皆さまと一緒に
なつて話し合い、課題解決に向けて取り
組む「議会サポーター制度」を進めていき
たいと思っています。こうした活動を通じて、
まちづくりに関心を持っていただき、意欲
のある人材が育つてほしいと思つています。

＊議会サポーター制度とは住民と議会が力を
合わせ、町が抱える課題に対して自由
に話し合いその意見を基に議会が町へ提
言していく制度です。

議会について

■よくあてはまる □ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

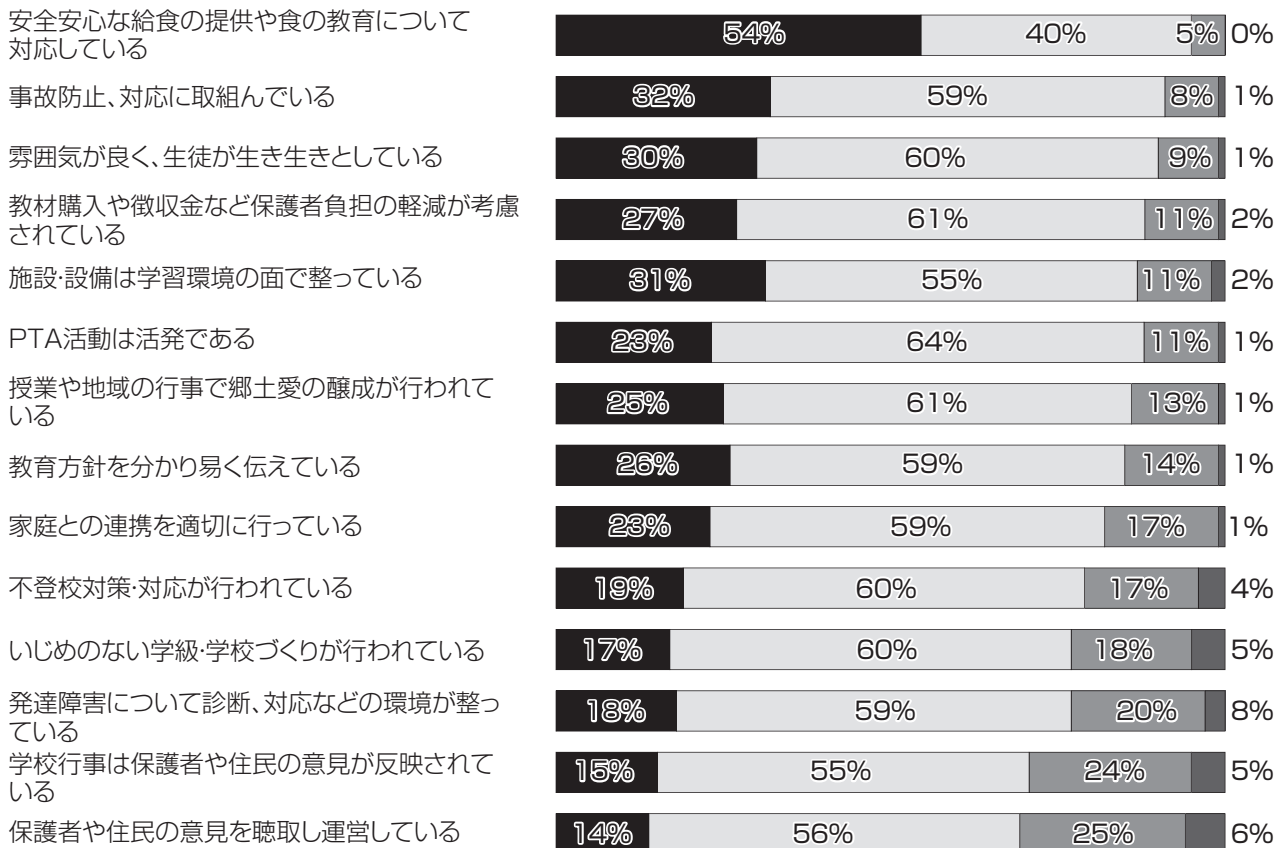
なり手不足は問題だと思っている	22%	42%	28%	8%
議会だよりを読んでいる	9%	30%	28%	34%
議会だよりは分かり易く伝えている	6%	33%	31%	29%
議会の役割や活動を理解している	4%	27%	50%	19%
本会議を傍聴してみたいと思う	4%	12%	32%	52%
本会議をチャンネルユーで見ている	3%	10%	25%	62%
「議会の時間」をチャンネルユーで見ている	3%	8%	23%	66%
議会は住民の意見を聴取している	2%	32%	47%	19%
議会と行政に積極的にかかわってみたいと思っている	2%	6%	31%	61%
「議会と語る会」に参加して議員と意見交換している	1%	9%	31%	59%
政策サポーターをやってみたいと思っている	1%	6%	25%	68%

記述アンケートからのご意見

- 1、女性を含め、議員のなり手不足についてどう思いますか。
・人数を減らし、議員報酬をあげる。
・女性には育児、家事、仕事があり色々と大変、その間の議会は難しい。
・仕事に魅力を感じられないからなりたいとは思わない。
・魅力ある議員がいな
い以上、これからは
なり手はいない。
- 2、生業を持ちながら
議会活動をするには
どんな方法があると思
いますか。
・夜間や休日、ネット
議会などで対応する。
・家族・職場の理解と
協力が必要、環境づ
くりを。
・多くの会議などを見
直し、最小限にする。
- 3、あなたが議員になつ
たら、どんな議会に
したいですか。
・圧力の無い議会、何
でも話し合える、み
んなで協力し合える
議会に。
・年に3回（最低）若
い町民と交流会をす
る。
・要望・欠点を述べる
のではなく、改善策
を行政と共に考えて
いきたい。
・子育て世代の人たち
も議員になれて、こ
れからの町を任せら
れるような議会にし
たい。

教育活動・学校運営

■よくあてはまる □ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない



記述アンケートからのご意見

中学校

・ 寺子屋はありがたいので、さらに内容を充実させていただきたい。
・ 制服を新しいデザインにしてほしい。
・ トイレの洋式化、校庭の照明設備を整えてほしい。
・ いじめ対策。
・ 発達障がい対応を、もっとしつかり進めてほしい。

北小学校

・ 夏休みに行われたサマーチャレンジは、どんどん行っていたきたい。
・ 漢検、数検、英検をもっと取り入れるべき、松川全体の学力向上を。

中央小学校

・ 運動会の短縮、持久走、遠足、水泳参観などの行事を残せる工夫をしてほしい。
・ (夏休みの長期化、授業時間数の確保、働き方改革などによって減少)
・ 保育園の建て替え、名子児童館の狭さなど考えてほしい。

・ 北小と中央小の規模の違いがあり、仕方がない事もあるが、力の入れ方や行事の差をととも感じている。
・ 発達障がいなどの支援について沢山の研修を重ね能力の向上を強く望む。
・ 中央小と北小の児童

考察

数のバランスを均等になるように通学区の選択が出来る様にしてほしい。

アンケートの結果から、若い世代は議会や行政に対して関心が低く、理解されていないのが現状です。

アンケートの回収率は58%程ありました。丁寧にご意見をいただきありがとうございます。お答えいただいた皆様に心から感謝いたします。

議会としてご意見を精査し、町へつなぐものは町へ。議会の改革改善に向けてのものは議会へ、それぞれに参考させていただき、議会改革に努めます。

どう活かすか

常任委員会からの視察報告

議会の
うごき



古民家を使ったまちづくりの拠点

総務産業建設常任委員会

10月15日、16日、関係する行政職員と共に
視察研修を行った。

ナイトバザールが まちづくりの起爆剤に

埼玉県秩父市 みやのかわ商店街

「奇跡の商店街」と呼ばれる「みやのかわ商店街」。シャッターを下ろしている店はなく、空き店舗もゼロに近いという。多くの関係者が視察に訪れる理由は、昭和61年、「まちづくり」のため青年部近代化研究会を結成。商店街の将来構想づくりに取り組み、バザール（夜市）を発売。毎回新しいイベントを企画し、継続して開催され、活性化を図っている。平成18年には商店街が福祉事業を行なうという画期的な取り組みを始めた。郊外への大型店

の出店や高齢化に伴う買い物弱者の増加。身近な人が困った人を助ける「共助」の仕組みが必要と思いつき、出張商店街による買い物弱者の支援・地域商品券を報酬とした高齢者による生活支援と有償ボランティア制度を構築することで地域貢献と地域経済の活性化を図っている。

みやのかわ商店街では、今も次々と新機軸を打ち出し、集客とまちづくりに貢献している。お金もなく、補助金もないなか、知恵とやる気だけで乗り越えてきている。

町の商店街も年々人通りが少なくなり、シャッターを下ろしている店が増えている。行政支援と共に、商店街が一致団結して活性化に取り組んでいただきたいと強く感じた。

甦った道の駅 ろまんちっく村

栃木県 宇都宮市

利用者は開園の翌年から年々減少し、開園10周年を期にリニューアル等様々な対策が施されたが、経営は好転しなかった。市は指定管理者制度の導入に踏み切り、新たな第三セクター会社による斬新な運営構造改革により収支は大幅に改善され好調に推移。

議会に対して、町民の一部の方から「道の駅」設置の検討が求められている。町内を含め近隣には産地直売所が数多くある。議会として、南信地方に点在する道の駅の運営状況、経営状態を調査し方向性を出していきたい。

充実した防災機能

東北自動車道 蓮田SA



首都直下型地震に対応した緊急自動機関の前線基地として建設された防災拠点。設置された防災設備や災害発生時への対応について調査した。

当町も次年度、防災倉庫の建設を計画している。近年、想定外規模の災害が発生しており、計画している防災設備、備蓄品の見直しも必要ではと感じた。

社会文教常任委員会

10月30日、31日、保健福祉課長、日赤、社協の関係者と共に視察研修を行なった。

課題解決に 参考となりうる事例の各

空き家を利用し、 分散型複合福祉施設

計画段階から地元の協力を得るまで3年かかったが、現在は地元を受け入れられた施設となっている。

元気センターの参考となる施設としての「輪島カブーレ」は「佛子園」が平成28年より営業している新しい施設。輪島市の人口減少と空き家対策を市から要請され、計画から実施まで佛子園が行っている。また現在も空き家を利用した施設を建設している。

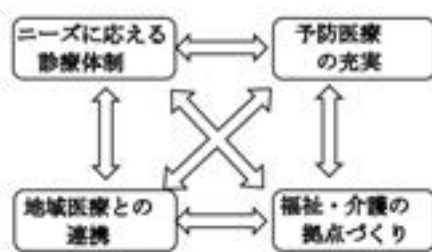
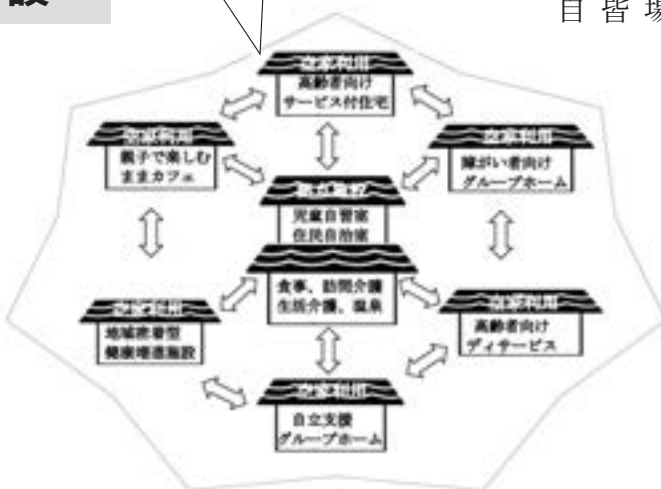
空き家を改築利用した施設運営。拠点施設から300m以内に施設が点在し行き来は自由。施設間は電動自動車を運行。

拠点施設の周りの空き家を利用したそれぞれの施設があり、施設間の行き来は自由。地域住民が地域のことを話し合うことのできる場所の提供や、地元の皆さんも会員となり、自由に利用している。

2棟の空家の改装前



改装された拠点施設



医療・介護・福祉が連携した病院

2市1町が構成とする石川中央病院のある地域は国立、県立、共済組合、日赤など競争の激しい地域でも堅実に運営している病院です。地域の拠点病院としてばかりでなく、通常の医療に加え、予防医学、福祉、介護の拠

点として病院全体を「医療・介護・福祉が連携した新しい「まち」として位置づけている。先進医療への投資は、優秀な医師も集まり結果として病院経営にプラス作用し、好循環作用が働いている。

特に人間ドックに代表される予防医学、デイスサービス・特別養護老人ホームに代表される福祉・介護の拠点づくりに重点を置き、日常生活全般の支援体制を整えている。

投資が好循環を生む

先進医療機器の導入

安定的な病院経営

優秀人材が集まる

来院数が増加

議 決 結 果

●全員一致で議決されたもの

令和元年第4回定例会議決結果

件 名	結果	内 容
松川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	一般職の国家公務員の給与改正に準じて改定。
松川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	個人番号カードを使用した多機能端末機による住民票等の交付手数料の規定の追加。
松川町使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決	フォレストアドベンチャー・松川の使用料の改正。
松川町工場立地法の緑地面積率等に関する準則を定める条例の制定について	可決	工場立地法の規定に基づく準則の制定。
松川町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	松川町工場立地法の緑地面積率等に関する準則との統一を図るための改正。
企業職員の給与の種別及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う条例の改正。
松川町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う条例の改正。
令和元年度補正予算	可決	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回） 5万円減額し12億7,538万円とする。
後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）	可決	18万円追加し1億6,276万円とする。
介護保険事業特別会計補正予算（第3回）	可決	3,237万円追加し13億4,120万円とする。
水道事業会計補正予算（第1回）	可決	収益的支出 46万円を追加し2億8,682万円とする。
下水道事業会計補正予算（第2回）	可決	収益的支出 182万円を減額し6億3,752万円とする。 資本的支出 175万円を追加し4億9,884万円とする。
人事	同意	松川町農業委員会の委員の選任について 任期満了に伴う改選。
	同意	松川町固定資産評価審査委員会の委員の選任について 林 貞喜氏（再任）

●多数意見により議決されたもの

○ 賛成 ● 反対

件 名	米山郁子	佐藤史人	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	菅沼弘	黒澤哲郎	坂本勇治	能谷宗明	森谷岩夫	島田弘美	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
議決													●	可決	辺地に係る総合整備計画の一部変更。
条例		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	地方公務員法及び地方自治法の規定に基づく制定。
締結		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	外壁の補修箇所増加による契約金額の変更。
令和元年度補正予算		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	7,864万円追加し64億7,239万円とする
		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	1,150万円減額し5億3,669万円とする
陳情・請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	採択	提出者6名 紹介議員 川瀬八十治

10月～12月 主な議会日程

10月15日(火) 中部伊那町村議会協議会 県知事提言
 10月15日(火) 総務産業建設常任委員会視察研修
 10月16日(水) 〃
 10月18日(金) 議会と語る会(名子)
 10月22日(火) 議会と語る会(新井)
 10月24日(木) 議会と語る会(上片桐)
 10月25日(金) 議会と語る会(古町)
 10月26日(土) 議会と語る会(上大島)
 10月28日(月) 議会と語る会(女団連)
 10月30日(水) 社会文教常任委員会視察研修
 10月31日(木) 〃
 飯伊市町村議会議員研修会
 11月1日(金) 議会と語る会(役場)
 11月10日(日) 関東松川の会総会
 11月11日(月) 議会全員協議会・議会運営委員会

11月15日(金) 日赤病院との懇談会
 11月18日(月) 議員協議会
 11月24日(日) 関西松川の会総会
 11月26日(火) 商工会産業懇談会
 11月28日(木) 議会運営委員会・議員協議会
 12月3日(火) 議会全員協議会・広報部会
 12月5日(木) 議会全員協議会・広聴部会
 12月5日(木) 第4回定例会本会議 開会
 12月9日(月) 総務産業建設常任委員会
 12月11日(水) 社会文教常任委員会
 12月19日(木) 一般質問
 12月20日(金) 議会全員協議会・第4回定例会本会議 閉会
 12月24日(火) 広報部会
 12月27日(金) 広報部会・議会全員協議会・議員協議会

ただ 所信を質す！ 一般質問

- 1 森谷岩夫議員（14 ページ）
 - ・各区会、自治会に対する行政の支援策はないか
 - ・まちづくり懇談会のこれからは
- 2 熊谷宗明議員（15 ページ）
 - ・子ども達が輝くまちづくりについて
 - ・安全でより豊かな学校給食を
 - ・住民主体のまちづくりについて
- 3 中平文夫議員（16 ページ）
 - ・山ほいくの活動状況と今後の方針
- 4 坂本勇治議員（17 ページ）
 - ・人口減少問題への対策は
- 5 菅沼一弘議員（18 ページ）
 - ・町民の提案を予算化しては
- 6 間瀬重男議員（19 ページ）
 - ・19号台風の大災害に何を学びどう生かすか
 - ・旧青年の家の後利用問題について
- 7 大蔵洋議員（20 ページ）
 - ・リニア建設工事の残土置き場候補地への第三者委員会設置について
 - ・令和2年度当初予算への取り組みについて
 - ・積極的な人材活用による魅力ある職場づくりを
- 8 米山郁子議員（21 ページ）
 - ・適材適所な人事配置とは
 - ・町民全体としての健康増進事業について
 - ・マイナンバーカード取得促進について
- 9 佐藤 史人議員（22 ページ）
 - ・令和2年度の予算編成はどう取り組むのか
 - ・「提案募集方式」の活用を試みませんか
- 10 黒澤 哲郎議員（23 ページ）
 - ・町長就任7ヶ月の自己評価と行政力の評価は
 - ・改編後の消防団組織の状況と今後の見通しは

一般質問は議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しています。本会議での傍聴をお待ちしております。

お知らせ



チャンネル・ユー 議会番組のお知らせ

「議会の時間」は毎月の議会活動の内容を、概ね第3月曜日午後7時より放送を予定しています。

再放送も併せて詳しくは番組表をご覧ください。



定例会及び各臨時議会の議事録、一般質問等に関しては図書館にて「松川町議会会議録」としてご覧いただけます。
尚過去の会議録も含めてご覧いただけます。

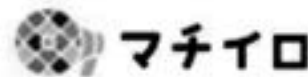
今月の表紙

はじめてのみそづくりに挑戦しました。

みんなで美味しく食べるのが楽しみです。

（名子区育生会主催）

議会だよりがアプリで見れる



マチを好きになるアプリ



QRコードからもダウンロードできます

人 事

固定資産評価審議委員
令和元年12月5日から3年間



林 貞喜氏
再 任

問

区会・自治会に行政の支援はないか

答

地域の提案に、同じ目線で応援をしていく



森谷岩夫 議員

(問) 地域の自治組織は、現在高齢化の波に押され、役員のなり手不足が進み、以前より活動に住民参加が少ないように思う。同じ地域で一緒に暮らしていくという一つの共通点によって地域活動は成り立っているが、以前ほど地域に頼らなくなってきた。関心も薄くなり、役員もできる限りやりたくない。そんな住民感情だと思う。町長は役場が全部抱えるのではなく、地域でできることは地域にお願い



天王諏訪神社 熱気あふれる秋の例大祭(中山地区)

いしていくという。私も大賛成で、住民要望をすべて聞いていけば、いくらお金があっても、いくら職員がいても足りなくなる。スクラップアンドビルドという。道筋をつけたもののや、必要が薄くなった事業はやめて、今必要なも

のを精査すべきだ。地域ができることは住民主体で実施してもらうことも大切だ。すべて抱えていては、行政は立ち行かなくなる。今も地域や自治組織に行政が頼って事業遂行することが多いが、現状でも厳しい自治組織の

運営や、そのための事務手続きなどを通じて今まで以上に行政が地域組織を支援していくことはできないか。お金や人も含めて。

(町長) 最初始まるに、住民の皆様の提案をじっくり聞き、一緒に話をしながら事業を進めていく。それを行政が地域の皆様と同じ目線に立って支援をしていくことが大切だ。そうしないと理事者や担当課長が変わると続いていくかない。

(問) 具体的に何ができるか。事務手続きや、催事をする時の段取りや、担当者張り付けを手助けできないか。地域おこし協力隊も、交流人口増に活用するばかりでなく地域に出したらどうか。集落支援員制度ももう少しうまく活用したらどうか。

(町長) 飯田市のまちづくり委員会のような組織を想定されているようだが、最終的にはそういう方向もあるとは思いますが、検討はして来年からと言うようなことはできないと考える。

(まちづくり政策課長) 過疎や高齢化の進む集落への対策としてとられたもので、外から見た地域の良さや活動を通じて活性化を目指すことに重点が置かれる。松川町では生東地区にこ

の9月より配置をして活動してもらっている。

(意見) 今自治会は未加入者や高齢のための脱退などで苦慮している。行政ですべてをできるわけではないので自治会へお願いすることも増えてくる。国が地方へ権限委譲し仕事も任せていることと同じだ。それをするためにも行政として、人やお金を含めた支援がどうしても必要になる。

問

まちづくり懇談会のいれから

答

モデルを作り、やり方を探っていく

(町長) 対立のようなことではなく、出席した職員も勉強になるような懇談会にしていきたい。地域に出て、地域に育ててもらうことが大切。来年は少し絞って、モデルケースを作ってやり方を探っていきたい。

問

「子育てするなら松川町」への展開は

答

人や自然を生かして住民と共に

(問) 公約の「子育てするなら松川町」の実現をどう展開していくのか。

(町長) 人や自然環境を生かして、行政主導だけではない地域住民がかかわって育てる福祉保育園などのような地域にしていきたい。

(問) 中学校の不登校生徒が20人を超え、全体の6%である。勉強したい、学校へ行きたいとの思いへの支援を早期に対応すべきだ。



世代を超えたのびのびお話会（おひさま）

(教育長) 支援の先生

を入れ、居場所を設けている。また、親のサポートとして「不登校親の会」を設け、悩みや不安を共有している。相談室や家庭訪問での学習指導の時間も取っている。

(問) 特別支援学級の児童生徒が75人と全体の

7%に増加してきている。障がいを持つ子どもが、他の子どもと平等に教育を受けるためにどういった合理的配慮をしているのか。

(教育長) どの子どもにとっても解りやすい授業を心がけている。特別支援教育支援員を北小2人、中学校2人、中央

小6人配置してサポートし、自立を助けている。また、手すりやスロープ、車椅子の配置も考えていきたい。

問 動き出した食農教育の意義は

答 地元農産物で愛郷心を育てる

(問) 子育て支援センターの相談役は、数年に渡って相談に乗ってくれるベテランの正規職員を置くべきと考えるが。

(教育長) 保健師や栄養士などプロの目でアドバイスを専門的に与えていく、チーム支援を考えていきたい。

(問) この程、中央小において50人余の保護者が参加して、有機栽培のお米とジャガイモを使った給食試食会がおこなわれた。どのような意義をもって進めていくのか。

(町長) 自校給食を生かし、地元農産物に接することによって、愛郷心を育てていきたい。

(問) 安全、安心な地元農産物の確保と今後の事業推進は。

(産業観光課長) 当面、

一日分の食材の確保を地元の野菜やお米で賄えるように取り組んでいく。環境保全型農業と有機栽培の食材提供を推進するために、協

議会を立ち上げ、生産者を公募して一定の補助なども検討する。同時に遊休農地の減少にも寄与してまいりたい。



顔の見える地元農産物の利用実現を

問 福与保育園の山保育のメリットは

答 好奇心が身に付き、その後に役立つ

〔問〕 福与保育園は、9月に「信州型自然保育（山保育）」として認定され、まだ日も浅い。山保育とはどのような保育か、現状の活動内容や特色、他の園との違いについて。

〔子ども課長〕 地域の皆さんの温かいご支援を頂きながら、畑でサツマイモを作ったり、

部奈の森への遠足や木の実を拾い、園に帰る屋内での自由遊びを大事にし、自然から与えられる恩恵を取り入れた保育に重点を置いている。



中平文夫 議員

〔問〕 山保育を担当する保育士に対する研修は重要である。外での保育時間も長くなり危険に対する備えも必要と考える。イメージ的には他の園児と比較して小学校入学に対する備え不足を不安視されているが実情は。

〔子ども課長〕 担当する保育士を含め、数人が県の主催する講習会に参加し、研修を受け認識を共有している。当然外保育時間も長く危険に対する備えは必要になっている。就学前保育については他の園児と同様におこなっているの心配ない。

〔問〕 山保育認定が町や園児にとって、どのようなメリットがあるのか。



地域の皆さんとサツマイモ植え

〔子ども課長〕 最近自然に接しながら育つ機会が少なくなっている。松川の自然の恩恵を受けながら、伸び伸びと育つ環境から、良い結果が生まれる。「子育てに良い環境」の要素としての山保育は、

その様な環境を望む多くの若い世代が選択する条件と合致するのではないかと考える。今後山保育活動充実に必要なフィールドの整備事業にも支援が受けられるメリットもある。

〔問〕 松川で採用している「普及型山保育」に対する関心度は非常に高く、飯伊地区でも20数園ですでに採用し、運営されている。他の山保育と比較して松川として特色ある園運営を心掛ける必要があるのではないか。

〔町長〕 町内それぞれの保育園も特色を出しながら運営しているが、大人が作った環境のなかで巣立つのとは違い、自然を取り入れた多くの体験をすることにより、自己肯定感も身に付くと同時に、なにより好奇心をより多く持つ。その後の子どもた

ちの成長の根源になると思う。今後の運営のなかで特色を突き詰めていく。

〔意見〕 認可を受けて間もないがHPなど

有効に利用し、もっと告知することを要望。単に運営するだけでなく次年度に向けてどの様に特色ある山保育になるか期待したい。



仲良く順番を待って 次はわたし!!

問

人口減少問題への対策は

答

子育て環境を整え都会からの若者のUターンを推進

(問)町の人口ピラミッドの現状から課題と対策を。

(町長)地域で一生懸命育てた若者たちが、進学を機に都会へ出て、そこに生活基盤を築いてしまつてなかなか帰つてこれないのが現状だ。

都会のなかでの出生率が落ちていく現状があり、子育てをする環境が整っていないという若い世代がはじまっている。

20代、40代の子育て世代に帰ってきて暮ら



坂本勇治 議員

していただきたい。そのために、子どもの時期にさまざまな体験をして、この町を自分が背負っていきたいと思う若者を一人でも多く育てたいと思っている。

(問)町の自然増減と社会増減の傾向から課題と対策は。

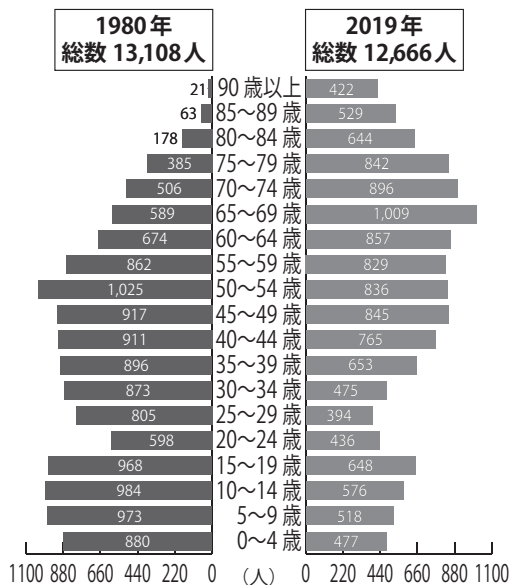
(まちづくり政策課長)

平成9年以降死亡数が出生数を上回る自然減で、ここ数年は毎年80人以上減っている。社会動態は、平成14年以降転出が転入を上回る社会減で、ここ数年は毎年50人前後減っている。対策として各種健康事業や保育料の軽減などによる子育てしやすい

環境の整備、松川町を進学等で離れる前の高校生の世代へのアプローチが非常に重要だと考え、コストリカスタディツアーを行っている。

町のことを学んで、コストリカと見比べ、体験し、町の良いところや課題を見つけて、松川町に残るという選択になれば最高ですし、

◆男女計5歳階級別人口◆



外に出て、松川町を思う深い関係人口になってくれればと期待している。

(問)都会では待機児童が大きな問題になっているが、町の施設は児童の受け入れに余裕がある。保育士の確保に特化した奨学金制度で人材を確保し、都会の問題をこの町のチャンスにつなげないか。

(町長)一つの提案として考えていく。

(問)町がおこなっている、子育てしやすい環境づくり政策や支援の住民への広報や周知は。

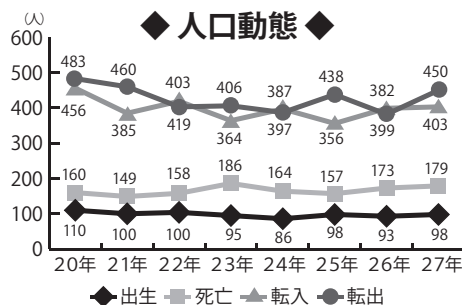
(まちづくり政策課長)町のHPで定住対策のコーナーで一覧にして掲載している。

(問)町の晩婚化や非婚化の実態と対策は。

(まちづくり政策課長)

平成30年のデータでは平均初婚年齢は男性が33歳、女性が31歳で晩婚化は進んでいる。15歳から49歳までの未婚率の推移はH12が40%、H27が45%、で高くなっている。社会福祉協議会の結婚相談事業や、下伊那北部事務組合の「愛ねつと北部」、消防団によるふれあい婚活パーティーの実施など支援をしている。

◆人口動態◆



(問)2世帯3世帯同居で子育てや、教育にメリットがあると思うが。

(町長)政策としては、今はない。地域で一緒になって子育てをしていく方向に取り組んで行く。

(意見)データに基づいた実態を把握し、緻密な分析や解析をおこない、改善に繋ぐ施策をおこなって欲しい。町職員に対しての力スタマーハラスメントへの対応を速やかに進めること。

問

町民の提案した事項を予算化すべき

答

行政や議会への信頼、関心を高める効果を得られるか

(問) 自治体はどこも財政難に悩まされて、行政が必要と認める予算化ができないなか、何を予算化したいか住民の提案を求めるなんてとんでもない話かと思いますが、予算化していくことについての考えは。

ちがあれば、醸成されていく原動力となっていく。住民からの声が提案となり即予算につながっていく。

(問) いかんに財政難の時代であっても、住民が夢と希望を持てる仕組みをつくり、住民自ら町づくりに参画しているのだという意識を

高めるということが町づくりの要諦ではないのか。

(町づくり政策課帳)

地域住民の皆様が主体となることが一番大事な部分と思っている。いかに職員が寄り添って一緒にやっていくことが非常に大事なことです。

(問) ある市では市長の諮問機関として「若者会議」を設置し、市長に答申をおこなっており実績もあるそうです。メンバーには高校生もおり職員や議員では思いつかない発言もあると聞きます。自治会懇談会が全自治会でおこなわれている。住民の声を迅速、的確に行政に反映させる自治会に参加し、要望や相談を受け職員も住民と雑談するように気軽に苦情や要望することも

でき、相談された事項を担当課に伝え、その結果を住民に連絡するシステムを構築ことはいかがか。

(町長) 過去に子ども議会をやったこともあった。やらなくなった原因として、先生の負担が多かったとの事でした。自治会での懇談会について職員が気楽に出ていき、発言のできる場を目指していきたい。

員が向うくという形を目指す。

(問) 古い街路灯を防犯灯へ変更はできるのか。また、防犯カメラの設置はできるのか。

(総務課長) 古い街路灯へはLED化に順次進めている。

防犯カメラについては商工会産業懇談会にて提案があった。申請することで補助金を受けられるので各自治会で町へ申請をお願いしたい。一般の駐車場や通学路、街路灯に取り付けるとお金が掛かる。今後の検討課題かと思う。



菅沼一弘 議員

(町長) 松川町民提案型まちづくり事業というのとは別にやっていて、だんだんと予算化をしている。住民の発言が町の運営に影響を与えていく。その人達が地域を背負う気持ち



提案を参考にして



防犯カメラの設置も考えて

問

19号台風豪雨災害に学び活かすことは

答

想定外を認識し早めの避難行動と情報共有

(問) 日本各地で豪雨災害をもたらした19号台風を目的の当たり前にして何を学び、行政としてどう生かしていくか。

(町長) 主に地震を想定した防災訓練をしてきたが大雨とは違う所がある。情報を共有し早めの地域への声かけ、避難行動が大切である。権平トンネル入口の土砂崩落のように通過後災害の想定も考えて行かなければならない。

(問) 福与、前川原、天竜川堤防の高さや安全度の把握は。

(建設課長) 天竜川水系河川整備計画があるが、完成堤防ではなく左岸宮澤川から間沢川までと、右岸も国が整備することになっており早期整備を要望している。

(問) 堤防の強靱化のためにリニア残土の活用がチャンスだがそのストック場所の確保を。(まちづくり政策課長) まちづくり政策課長はリニア残土の活用を国土交通省に要望してきたが残土の粒形の大き

さに問題があるという。強靱化のために活用できるのであれば、ストック場の確保を国やJR東海と協議しながら検討していきたい。

(問) 災害未然防止、中電との協定の内容は。

(総務課長) 飯田営業所と10月7日に協定を締結した。災害発生時に活動拠点への電力供給、停電情報の提供、未然防止のため事前伐採、倒木処理等、町の危機管理係、建設管理係、農林係の立場で内容を打ち合わせ締結した。毎年連絡調整会議を開催していく。

(問) 建設予定の防災倉庫の進捗は。

(総務課長) 現在設計業務委託をしている。防災機材を集約して有効に活用できるように出やすい構造に考えている。公用車の車庫と事務所を併設していく。

増水した天竜川宮ヶ瀬橋



(問) 大災害時ヘリの活躍は大きい、ヘリポートの現況と位置確認表示整備を。

ンド(中学校・運動公園・町民・生田)を、地域のヘリポート基地として設けている。ヘリポート位置マークは今後研究していく。

問

青年の家は町の宝、利活用を

答

現況の活用は厳しい

(問) 有効活用が進められてきた旧青年の家の問題が、新体制になりきちんとしたマネージメントや改修計画もなく、いきなり方針の見直しが浮上して来た。建築家から見れば、世界遺産ともいえるべき建築物、有効活用すべきだ。

(町長) 提案の仕方が唐突で根拠がきちんと示せなかったことはお詫びする。就任以来膨大な資料を検証するなか、まちづくりセンターと協議し現況のままの活用は厳しいと考えた。

堂々たる研修棟



100人収容の宿泊棟



問 子育て支援施策は

答 子どもと交わり対応していく

(問) 4月の選挙の公約のなかで、子育て支援に必要な施策を提案と掲げられている。次年度予算にどう拡充、反映していくのか。

ムの導入、昨年導入したサマーチャレンジスクールの拡充、ふるさと読本を使った地域を学ぶ教育を考えている。

(問) 議会が9月末に実施した小中学校の子

育て世代の保護者へのアンケートにさまざまな意見が寄せられている。保護者とのヒアリングを実施され、予算化を検討されている。

(町長) 自身が保護者という立場もあり、保育園の保護者会や学校のPTAの会などで接する機会があり、比較的話は聞いている。提案を受け、今後事業と

して取り組んでいきたいと考えている。

(問) くだものの里まつかわ応援寄附金が、総経費を除いて年度末迄に約6000万円見込まれる。基金への繰入れも必要だが、町長の裁量として2000

(町長) 私の査定でそういう使い道ができるかわからないが、地域を育てるために使っていきたい気持ちは持っている。

万円程度は活用してもいいと思う。

を受けていただき、新規、社会人枠で対応していきたい。

(副町長) 県の場合は、基本的に1年での採用。更新する場合は通常3年が限度。臨職から正規の職員に登用する制度は持っていない。

能力、適性がすぐれた方には正規の試験を受けていただき、採用されるケースもある。

問 雇用・モチベーションの確保は
答 環境づくりが私の役目

(問) 法改制により来年4月より会計年度任用職員制度が導入され、臨時職員の雇用任期が一会計年度となる。雇用の不安は元より、モチベーションの低下が懸念される。多くの有能な職員に対して、どのように対処されるのか。

ていただく環境づくりが私の役目。人づくりの観点から研修に参加させスキルアップを図っていききたい。

(問) 制度導入により正規職員への登用が非常にきびしくなると予測されるが。

(町長) 実力を発揮し

(総務課長) 希望すれば今まで通り採用試験



明るい職場環境を



大蔵 洋 議員



学力向上を目指して

問 課長職の適正とは

答 課を掌握・課との連携ができること

(問) 町長は課長への女性登用は適正を見て判断すると言われたが課長としての適正とは。

(問) 人事権は町長にある。今度どのような観点で人員配置されていくのか。

(町長) 課という組織のトップになれる立場であることが大前提である。トップで何ができるか。課が何をしていくかということをして握し、各課に繋いでいくか。リーダーの姿勢、雰囲気は課に影響する。コミュニケーションをとり、課の雰囲気を決めることができる適正が必要。

(町長) 人が育つような環境づくりをずっとやっていきたい。人が育つには2パターンある。一つはさまざまな現場を経験することで、総合力が上がっていく。もう一つにはそこに長くいることで業務に関して深く知ることができる。このバランスを考えていかなければいけない。



米山郁子 議員

(意見) 女性の課長登用は働き方改革を促進させる近道である。人材育成をして計画的な登用を。

問 町全体の健康増進事業は健康マイレージポイント付与も検討

答

(問) 松川町では健康を考える集会や講演会を実施され、健康増進事業として、色々な取り組みをおこなっている。高齢化社会のなか、町全体として健康増進をどのように進めていくのか。町民を誘引できる取組みは。



(保健福祉課長) 検診の受診。検診結果説明会への参加。健康学習会への参加。健康考える集会への参加。健康考える集会への参加といった四つの項目に絞り、そのうち3項目を満たせば、マイレージポイントを付与する方法はできないか、今検討を進めている。予定では令和2年度からスタートに向けて準備を進めている。



健康ポイント制度で動機づけ

問 進んでいるのかマイナンバーカード取得

答 その場で写真撮影、手軽に取得

(問) デジタル・ガバメント閣僚会議でマイナンバーカードの普及と利活用の促進に関する方針が出された。町としての取り組みは。

(問) 取得後の悪用リスクは。

(税務課長) 町の取得率は7.2%。来年よりマイナンバーカードを使用するコンビニ交付サービスを開始する。

(住民税務課) 個人ごとの暗証番号がある。暗号化されていて情報は洩れないシステムになっている。厳しいセキュリティである。



持っている便利かも

問	来年度予算編成はどう取り組むのか
答	対話や意見、要望を聞くなかで
問	「提案募集方式」の活用してみませんか
答	意見として受けとる

(問) 平成30年度の行政評価・事業評価について各課の把握をするなかで、町長自身の方針は決まったのか。

(町長) 「人を育てる」

が大きな方針。スクラップ&ビルドのスクラップの方針を絞っていく。現在は、各課からレクチャーを受けている段階。

たのだから、同じABC評価ではなく、AⅡそのまま継続、BⅡ改善が必要、CⅡもうこれは止める。そういった判断が必要だと思うが。

(町長) 機械的に、3

段階で判断することは、考えていないが、事業評価は、きちんと見て私と副町長で決める。

(問) 今年度の各課目標の中間報告がABC評価で出されているが、前年度の決算認定され

(問) 30年度、「観光」については、「南信州まつかわ観光まちづくりセンター」を設立。その事業評価は。

(町長) 主体性と責任の所在について検証し町として、事業評価しているところ。

(問) 観光まちづくりセンターは、3年間で受けた地方創生推進交付金は。

(まちづくり政策課長)

総額で事業費が1億8300万円。交付金は9123万円で約半分。

(産業観光課長) ハード事業が50%補助金、45%起債、後年、特別地方交付税で30%の措置がある。ソフト事業は、補助金50%、特別交付税が30%、普通交付税25%で実質100%補助。

(意見) 委託事業については、町の方針で実績を精査し、主体的に責任ある事業ができる所に任せることが大切だ。

(問) 内閣府の「提案募集方式」について町長の感想は。

(町長) 住民生活にか

かわる身近な課題を現場目線で行政職員が考えるという視点は大切。地域に出て地域の方の意見を吸い上げて、その困りごとを解決するのと一緒に手伝うという方法は参考になる。

(意見) 昭和61年6月に制定された「松川町町民憲章」の前文に「わたくしたちは自らの責任と誇りをもち、略」という文章があります。そんな町民に寄りそうための手段として、「提案応募方式」として町内で活用を望む。



昭和六十一年 松川町「町政施行三〇周年」として制定された

問

町長自身の自己評価と行政力評価は？

答

自己評価は5段階で3・8位か

（問）町長就任7カ月経過での自己評価は。また、掲げたまちづくりはどう取り組みをおこなったか、経験の無い目で見ただ行政の現状は、そしてどのように組織を機能させ政策を実行していくのかお聞きする。

（町長）経験の無いなかとにかく学ぶ、偏見がない目で見るということに取り組んだ。すべて処理領域から全部見て自分で分からないことは調べたことが今生きてきている。

認めてもらうためには、まずは私が全力で



黒澤哲郎 議員

やっている姿を、背中を見せないと、という気持ちで走ってきた。

政策的に地域のためにやるのが1回始めたら変更ができなくなっているというのが少し弊害なのではないか。見直しの指示を出している。また役場を機能させるために本来地域の方がやっていたことを役場でやるようになってしまったことを見極めて、そこはだんだん地域にお戻ししていく。

（意見）住民も議会も行政運営に対して不安と心配を抱えている。「〇〇していけばいいな」「住民と対話して」などという町長答弁が多い。当事者として自覚を持った答弁をすべき。また就任以来、政

策や、改革案はまったく示されていない。その上、提案は住民の声を聞くこともなく、議会と事前協議することもなく、いきなり強行提案である。旧青年の家活用中止の件、高学年の夏休み児童館利用制限、入札方法見直しの件しかりである。更に議会で指摘する問題点には謝罪しても改善はしないのが現状だ。「大きな方向性を指示し後は職員と住民で提案してもらう」と言うが、それでいつになったら政策実現や改革ができるのか。そこが不安と心配なのである。

や近隣市町村との人事交流をなぜしないのか。

（町長）コミュニケーションに徹している。毎朝のミーティング、各係の打ち合わせを頻繁にし

課長会議の頻度も上げて各課の連携をとるよう今やっている。人材育成は研修を当然おこな

いそれを地域で活かせるようやっていきたい。人事交流は県や国とは

やっているが今のところ考えてなかった。

（意見）井の中の蛙では困る。是非やるべき。

（問）所信表明で言われた住民の応援できる政策の変化に応じた行政運営の具体的な考えと来年度の町づくりの方向性は。

（町長）まちづくり懇談会を変えるところから、住民一人一人が主体性を持つてやっていように取り組みたい。

（総務課長）改編は地域のバランスの改善、出動体制の充実を図るためおこなった。課題としてラッパ班団員の確保、不活動団員の根絶減少、女性団員の確保がある。来年度の方針は非常時に迅速で安全な対応、大規模災害にしっかりと備え、消防団事業に対し団結してやっていく。また、行事の統合などで負担を軽減していく。

（意見）退団者が35人程出ると聞いている。消防団の活動、待遇についてしっかりと理解している住民がどれだけいるか。消防団の案内パンフや募集要項を作り理解を求める取り組みをすべき。募集活動にも良い。即予算化せよ。停滞と議論無しの強行提案による混乱を起こさない運営を。

問

改編後の消防団の状況は？

答

大きな混乱もなく移行できた

（総務課長）改編は地域のバランスの改善、出動体制の充実を図るためおこなった。課題としてラッパ班団員の確保、不活動団員の根絶減少、女性団員の確保がある。来年度の方針は非常時に迅速で安全な対応、大規模災害にしっかりと備え、消防団事業に対し団結してやっていく。また、行事の統合などで負担を軽減していく。

（意見）退団者が35人程出ると聞いている。消防団の活動、待遇についてしっかりと理解している住民がどれだけいるか。消防団の案内パンフや募集要項を作り理解を求める取り組みをすべき。募集活動にも良い。即予算化せよ。停滞と議論無しの強行提案による混乱を起こさない運営を。

（町長）まちづくり懇談会を変えるところから、住民一人一人が主体性を持つてやっていように取り組みたい。



消防団活動の様子

松川町で感謝がいつぱい

清北 中川 奈麻子

私は神奈川県出身で、松川町に移住して4年目になりました。元々、自然が好きで神奈川県に居た時も海や山の近くに住んでいましたが、自分の家をアトリ工にして作品作りをしたり、庭や畑仕事をしたかったため、移住先を探していました。そんな折、東京で全国物産展＆移住説明会が行

なわれていたので参加をし、松川町のことを知りました。私が感じた松川町は穏やかで明るい印象。果物やワイン、アルプスの山々が見える景色は外国のように素敵に思いました。ご縁が繋がり畑も借りながら庭もある一軒家で暮らし始めることができました。

私の母はフルオーダーで服



民泊の時にお客様がとってくれた写真

を作り、編物製品も作っていたので、私は母から縫物や編物を教わってきました。自分にできることで生計を立てたいと決め、移住をする1年前に自分のブランド『Peacessoup (ピーススープ)』を立ち上げました。けれどもっと前、私が服のお直し屋に勤めている頃、とても働き盛りで働き過ぎ、首を痛めて仕事ができないうちがありました。なので縫物も編

物も程々。他に好きで仕事にしたい事も合わせて、色んなことから生計を立てられる暮らしを目指しています。絵、編物教室、服直し、作品は長野と神奈川で小さな個展を開き、自然が豊かな松川町での素朴な暮らしや、リンゴ農家さんを紹介したりする民泊も受けています。天然酵母パンを焼き始めて4年。いつか薪ストーブの家に住み、薪のオーブンで焼くパンをホームステイのお客様と一緒に過ごすことがしたいと思っています。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



2019年夏 諏訪市で開催されました
南信地区スポーツ少年団大会の際の写真です

松川町スポーツ少年団バドミントンクラブ

私たち松川町スポーツ少年団バドミントンクラブでは松川町内の小学校2年生～6年生までが活動をしています。

練習日は毎週月曜日、土曜日の2回です。

総勢36名で元気に楽しくバドミントンをしています。

活動時間：毎週月曜日 17:30～19:30

毎週土曜日 17:00～19:00

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広報部 (編集委員会)		あき	
(部長)	坂本 勇治	今年は「オリンピック・パラリンピック」が夏に開催されます。世界中の人々が集まる大きなイベントを、大勢の方々が期待をしていると共に楽しみにしていると思います。 広報部編集委員会では、大勢の方に読んでいただける「議会だより」を目指して参ります。本年もよりしくお願いいたします。 (川瀬八十治)	
(副部長)	大蔵 洋夫		
(部員)	中平 文夫	去年は春先の凍霜害や、台風19号により大きな被害を受け残念な年でありました。	
	(部員)		
	松井 悦子		
	森谷 岩夫		
	川瀬八十治	今年は「オリンピック・パラリンピック」が夏に開催されます。世界中の人々が集まる大きなイベントを、大勢の方々が期待をしていると共に楽しみにしていると思います。	
	米山 郁子		